

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【宮城県・仙台市】

学校名【仙台市立秋保中学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ <b>IV</b> ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台市立秋保中学校 64名 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 16名（男子8名，女子8名）</li> <li>第2学年 20名（男子12名，女子8名）</li> <li>第3学年 28名（男子14名，女子14名）</li> </ul> </li> <li>民族歌舞団ほうねん座 5名</li> </ul>
3 展開の形式	<p>【学校における活動】</p> <p>①教科名：総合的な学習の時間</p> <p>②行事名：文化発表会</p> <p>③その他：4校交流学习</p> <p>【地域における活動】</p> <p>①イベント名：秋保総合支所主催の行事（中止）</p> <p>②その他：</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元のプロの演奏家による伝統芸能を鑑賞し，地元地域への愛着と伝統文化を継承する意識を高める。</li> <li>秋保地区に伝わる和太鼓や篠笛演奏の基本を学び，伝統を継承する人材を育てる。</li> </ul>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間を，文化発表会の練習に充てた。日程は，8月19日からの8日間で計14時間の練習を行った。最終日の8月28日に文化発表会用の撮影を行った。</li> <li>今年度の文化発表会は，新型コロナウイルス感染症の影響により，演奏の様子を記録して，動画での発表会にした。</li> <li>全校生徒64名の生徒を，篠笛，和太鼓，展示・創作の3つのグループに分け，3年間で全ての役割を体験できるように調整した。（今年度は2年目の取組）</li> <li>練習は，毎時間「民族歌舞団ほうねん座」の方々に指導していただいた。</li> <li>10月8日の第2回4校交流学习では，「民族歌舞団ほうねん座」の方々による伝統芸能を披露していただき，鑑賞会を行った。</li> </ul>





<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2, 3年生の中には、昨年度も和太鼓と篠笛を経験している生徒がいるため、習得時間の短縮につながり、曲の完成度が高くなった。</li> <li>• 秋保地区では、古くから田植踊りなど多くの郷土芸能が伝わっていることから、日本の伝統や文化への関心が更に高まった。</li> <li>• 秋保町に拠点を置く「民族歌舞団ほうねん座」の方々に協力を要請することにより、地域とのつながりができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動の様子を録画し、オンラインでの動画配信をしたこと。</li> <li>• 小規模学校の特色を生かし、3年間でほとんどの生徒が和太鼓や篠笛を演奏することができること。</li> <li>• 秋保地区には、画家、民話の語り部、そば打ち研究会、陶芸家、篠笛奏者、民族歌舞団など多くの伝統芸能・文化を継承している方々がいる。現在、それぞれの方々に特別非常勤講師として授業に参加していただき、地域教育環境を整えている。生徒が地元の伝統芸能に対しての誇りを持つことと、継承しようとする意欲が育つような工夫をしている。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校所有の和太鼓は1台のみであり、近隣の学校からの確保が大変である。</li> <li>• 練習では、大きい音が鳴り響くので、近隣住民の理解と協力が必要である。</li> <li>• 篠笛は、80本所有しているが、学校での管理が難しいため、秋保町馬場に拠点のある「音吉屋ふえ工房」に管理を依頼している。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の行事に積極的に参加し、地域に伝わる伝統芸能を広く発信していく。</li> <li>• 文化発表会や地域主催の行事などを通して、和太鼓と篠笛の伝統芸能を次の世代へと継承していく。</li> </ul>